



タブレットを使うと、いろいろなじょうほうを友だちときょう有したり、まとめたことをわかりやすく発表したりすることができます。ここでは、タブレットを使ってきょう有したり、発表したりするときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、タブレットを使って上手に発表できると思う
- わたしは、友だちの発表をきちんと聞いている思う
- わたしは、自分の作品が勝手に書きこまれたとき、きちんと対おうできると思う

タブレットを使った発表の様子です。クラスの前で発表しています。
上手な発表だと思いうじゅんにならべてみましょう。



ずっとタブレットを見て発表している



聞いている人を見て発表している



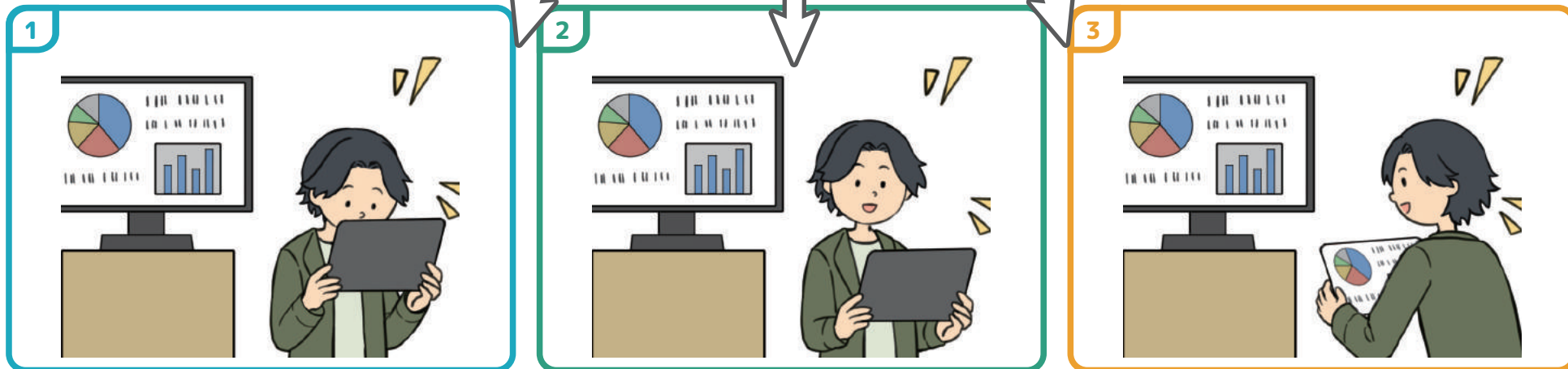
モニターを見て発表している

とても上手



上手ではない

とも
友だちとくらべてみよう

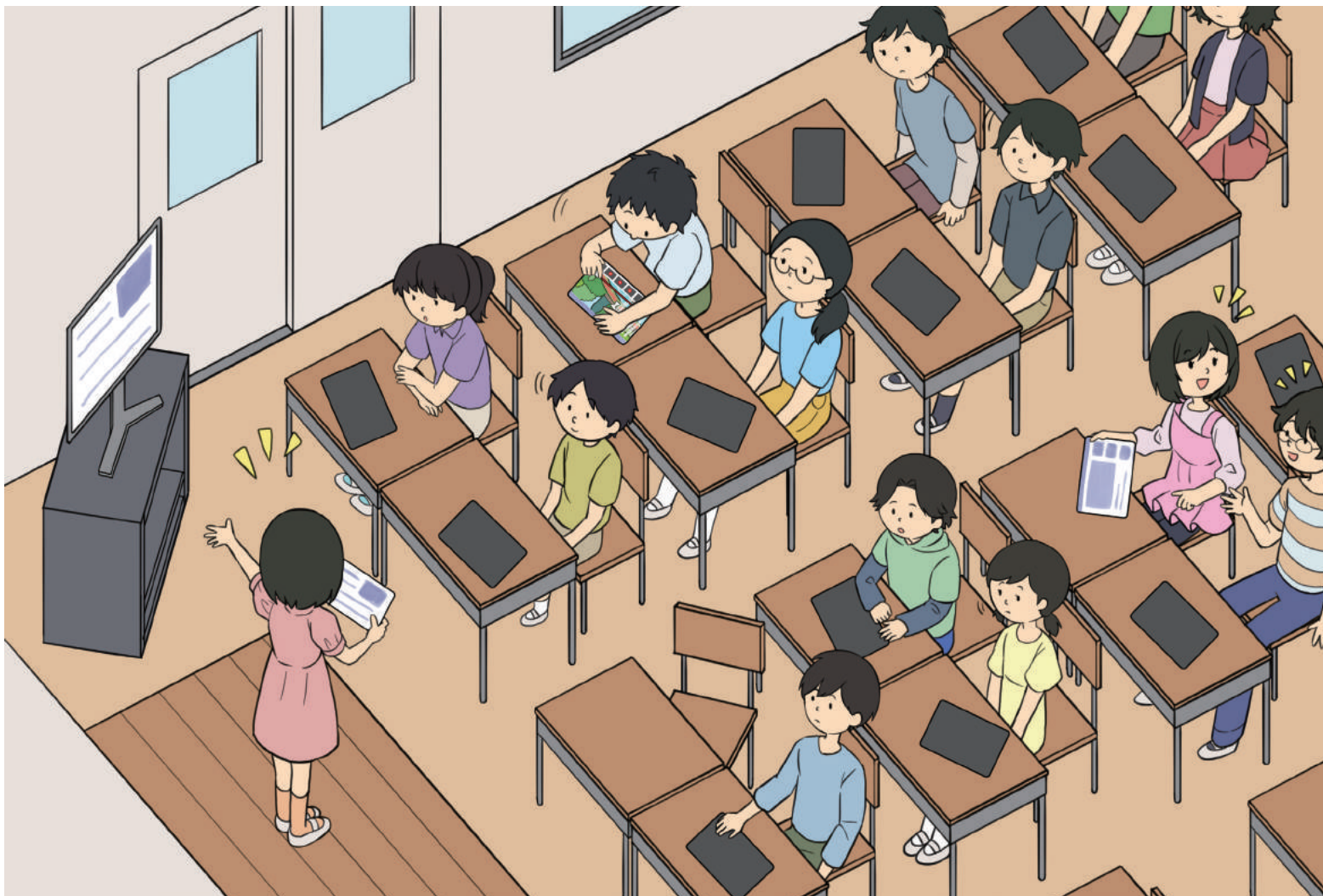


★ スキルのポイント

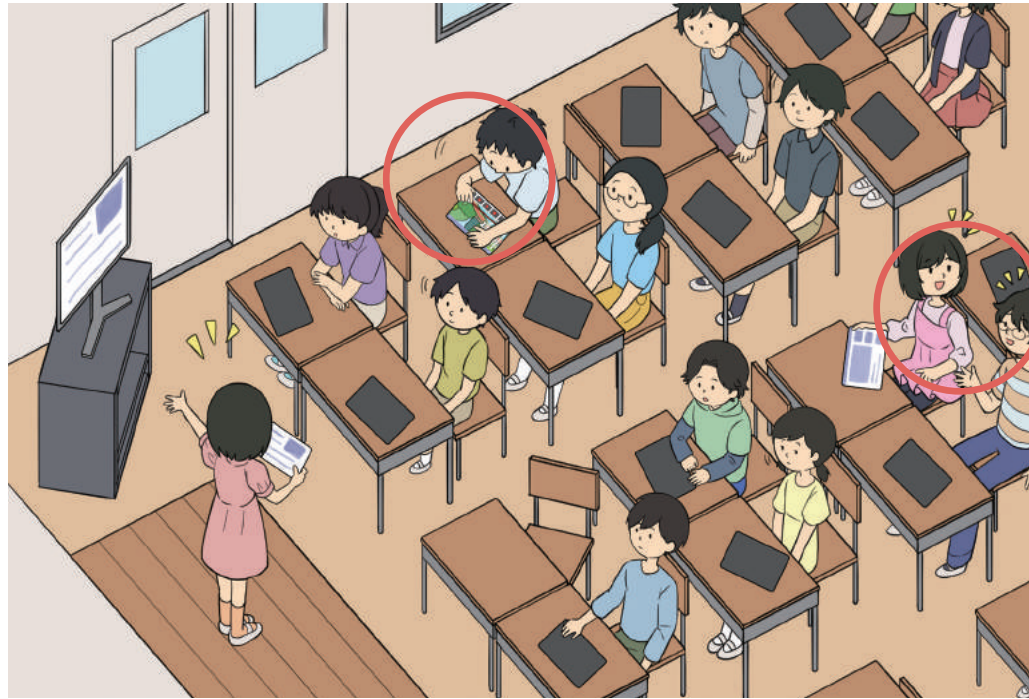
タブレットやモニターを見ながら話してしまうと、どうしても声が前にとどきにくなります。できるだけ、聞いている人の方を向いて発表するとよいでしょう。

また、声の大きさや話す速さなどもくふうしてみましょう。どのような声の大きさや話す速さだと、聞きやすい発表になるか、ためしてみましょう。

つぎ
次のイラストで、**発表の聞き方**について気になるところに○をつけましょう。



とう かい答れい



☆ スキルのポイント

とも はっぴょう
友だちが発表をしているときに、きちんと聞くことができているでしょうか？
とも はっぴょう
友だちが発表をしているのに、タブレットをさわっていたり、とも はな
友だちと話をしていたりしていることはありませんか？
はっぴょうしゃ はな
発表者が話しやすいように、き かんが
聞くためのくふうも考えてみましょう。



勝手に書きこまれたら

自分のつくった作品を、みんなが見られるように公開したところ、その作品に落書きをされてしまいました。あなたならどのように対おうしますか。
次の3つの行動を「○ やった方がよい」「× やらない方がよい」にわけてみましょう。

1

くやしいので
ほかひとの作品に
落書きする

2

その落書きの様子を
記しておく

3

落書きされたことを
先生にそうだんする

○ やった方がよい **A**

B × やらない方がよい



○ やった方がよい **A**

2

らくが
その落書きの様子を
き
記ろくしておく

3

らくが
落書きされたことを
せんせい
先生にそうだんする

B × やらない方がよい

1

くやしいので
ほか ひと さくひん
他の人の作品に
らくが
落書きする

★ スキルのポイント

クラスの他の人の作品を自由に見ることができるのは、とてもべんりですが、なかには勝手に作品に書きこみをしたり、落書きをしたりする人もいます。そんなときは、まずはその落書きの様子を記ろくしましょう。

画面の様子を記ろくすることをスクリーンショットと言います。

そのスクリーンショットとともに先生にそうだんしましょう。





まとめ

じょうず つか 上手に使うために

タブレットを使って「きょう有」や「発表」を行う場合には、相手のことをいしきするひつようがあります。

どんな人がこのじょうほうを受けとるのかを想ぞうしながら、「どうすれば相手につたわりやすいかな」ということを考え、くふうしてみましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、タブレットを使って上手に発表することができる
- わたしは、友だちの発表をきちんと聞くことができる
- わたしは、自分の作品に勝手に書きこまれたとき、きちんと対応することができる